

- 餌寄せロボットとその効果を十分に発揮するための新たなフリーストール牛舎を導入することで、餌寄せ作業を自動化。
- 省力化により飼養数の増加が可能となるため、経営規模が拡大し、収益性が向上。

経営上の課題

- ・ 老朽化した既存施設で増頭を行ってきたことで、毎日の餌寄せに要する作業時間が負担となっている。
- ・ 既存施設には餌寄せロボットを導入することが困難。

スマート農業技術の活用と、それに適した新たなフリーストール牛舎を導入する必要

申請者：

瘡師和男（北海道鹿追町）

対象品目：

酪農

スマート農業技術：

餌寄せロボット

新たな生産方式：

餌寄せロボットの導入に適したフリーストール牛舎の導入

活用予定の支援措置：

スマート農業技術活用投資促進税制

計画の概要

スマート農業技術

餌寄せロボット



餌寄せ作業の自動化

課題



- ・ 餌寄せロボットの設置のため、飼槽のスペースを削る必要
- ・ 大型のミキサーで給餌作業を行う際に十分な作業スペースが確保できない

新たな生産方式

餌寄せロボットの導入に適したフリーストール牛舎の導入

- ・ 餌寄せロボットが効果的に稼働するフリーストール牛舎を導入し、餌寄せ作業を自動化
- ・ 1頭あたり労働投入量が減少することで経営拡大が可能となり収益性が向上